

港内作業許可申請書

2019年7月1日

東播磨港長 殿

神戸市中央区東川崎町3丁目1番1号

〒650-8670 TEL: 078-682-5119

川崎重工業株式会社

船舶海洋カンパニー

神戸造船工場長 徳田 剛一



1. 目的及び種類

2019年に自律型無人潜水機（以下、AUVと略す）並びにAUVに搭載したパイプライン検査用のロボットアームの試験を川崎重工業株式会社播磨工場の岸壁にて行う計画のため、事前に試験海域の海底の状況を調査する。

2. 期間及び時間

作業日：2019年7月9日（日の出～日没）

予備日：2019年7月10日～7月12日（日の出～日没）

*詳細工程を添付別紙1（作業工程（潜水調査））参照

3. 区域又は場所

川崎重工業株式会社播磨工場岸壁付近の沖合（添付別紙2（位置図）参照）

4. 方法

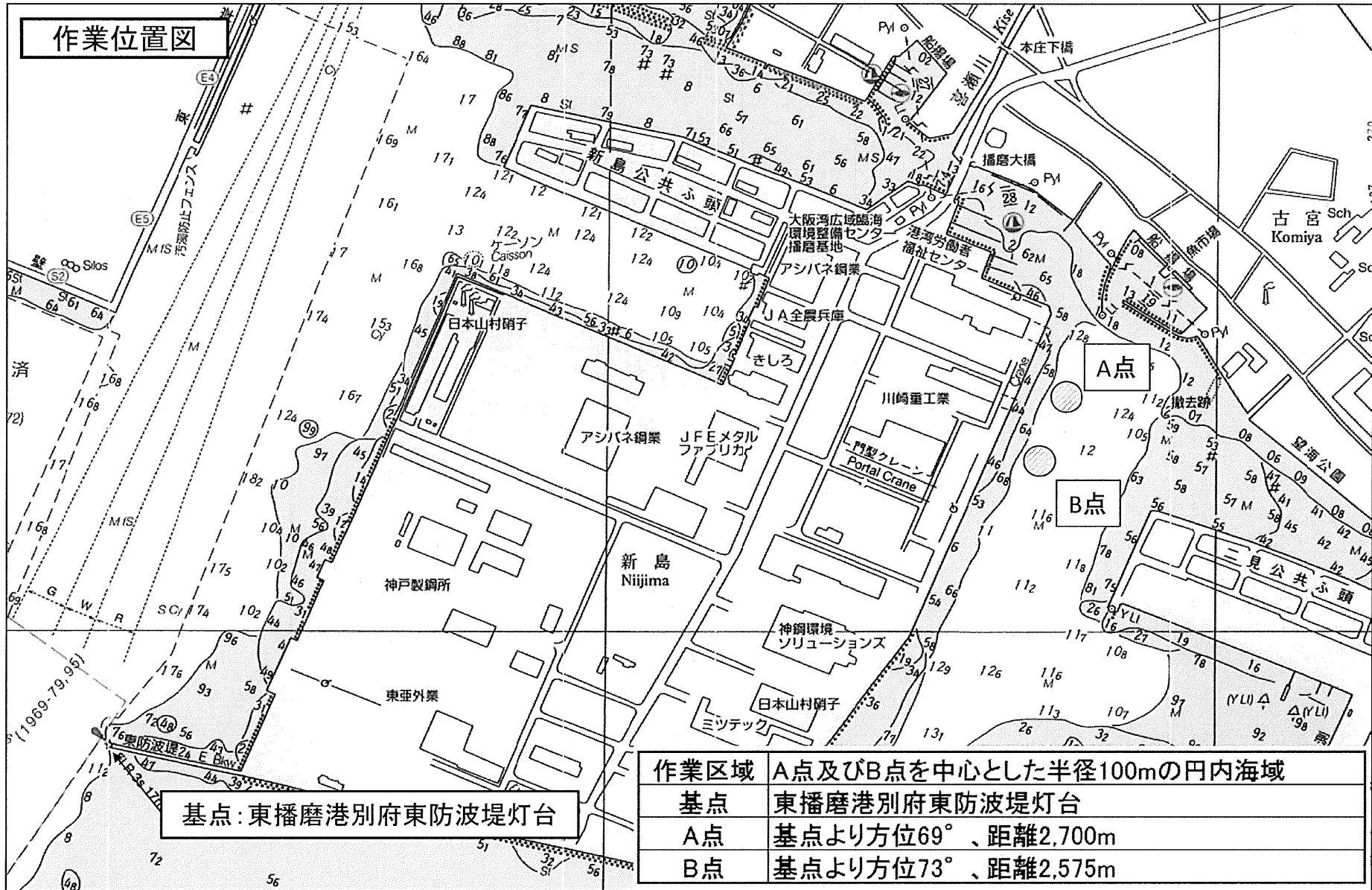
潜水士が搭乗した作業船（添付別紙3（使用船舶一覧表））を作業海域まで回航し、当該海域にて潜水士（フーカー式）が潜水し、上記3.の作業区域内の海底の状況（海底の地質及び傾斜等）を調査する（添付別紙4（作業状況図））。

5. その他（事故防止措置等）

添付別紙5（事故防止措置等）参照

許可条件
申請書記載の安全対策を遵守すること。





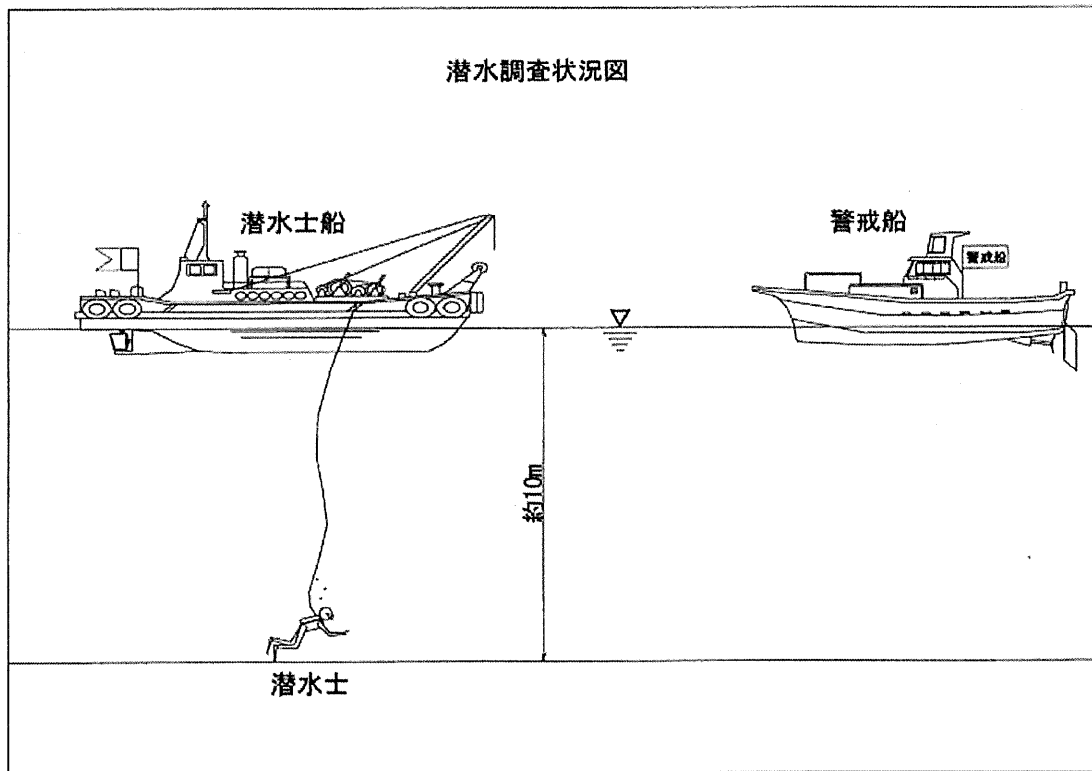
作業位置図

基点: 東播磨港別府東防波堤灯台

作業区域	A点及びB点を中心とした半径100mの円内海域
基点	東播磨港別府東防波堤灯台
A点	基点より方位69°、距離2,700m
B点	基点より方位73°、距離2,575m

作業状況図

潜水士が搭乗した作業船を作業海域まで回航し、当該海域にて潜水士(フーカー式)が潜水し、試験区域内の海底の状況(海底の地質及び傾斜等)を調査する。



事故防止措置等

- (1) 本作業の現場責任者を「伴地 正明」に定め、作業全般及び事故防止措置について監督すると共に、付近航行船舶の安全を確保します。

現場責任者：日神建設株式会社 神戸営業所 所長 伴地正明

連絡先：昼間 090-3166-1741

夜間 同上

- (2) 海上衝突予防法及び港則法を遵守し、事故防止に努めます。
- (3) 気象の変化に留意し、津波注意報・警報が発表された場合、気象警報の発表により荒天が予想される場合、又は次の基準に達した場合は作業を行いません。

項目	潜水作業
風速（平均）	8m/s 以上（10 分間の平均）
波高（有義）	0.8m 以上
視界	1,000m 以下
潮流	1knot 以上
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風、高潮などの異常気象接近時 ・ 雷雲接近時 ・ 津波注意報、警報発表時 ・ 工事責任者もしくは作業船船長が作業続行を危険と判断したとき ・ 東播磨港長からの指示があった場合

- (4) 作業中、警戒船を配備し、付近航行船舶に対して赤旗及び拡声器等により注意喚起するほか、必要に応じて誘導を行います。尚、専従警戒要員及びその警戒要員の業務講習受講番号を添付別紙 6（播磨漁協警戒船一覧及び乗組員名簿）に示します。
- (5) 潜水作業を行う場合、潜水土船には海上衝突予防法に規定する国際信号書に定める「A 旗」を表す信号板及び「潜水作業中」と記した横断幕を掲げます。
- (6) 潜水作業員はフーカー式潜水土 2 名とし、装備している水中電話にて潜水作業指揮者と常時連絡できるようにします。
- (7) 事故発生時等の緊急時は、応急措置を講じると共に、「緊急連絡系統図」（添付別紙 7（緊急連絡系統図））の通り、速やかに加古川海上保安署へ連絡し、指示を受けることとします。